

令和 5 年度 第 3 回 静岡県循環器病対策推進協議会 議事録

日 時	令和 6 年 2 月 19 日 (月) 午後 3 時 30 分から 4 時 21 分まで
場 所	もくせい会館 (静岡県職員会館) 富士ホール (オンライン併用) (静岡市葵区鷹匠 3-6-1)
出席委員	池田 悦章 (代理出席 成澤 央久)、海野 直樹、大石 裕香、大橋 寿彦、 小野寺 知哉、小野 宏志、小柳津 亮太、久保田 美保子、坂本 喜三郎、 佐々木 優、鈴木 孝一郎、諏訪 哲、田淵 榮男、原田 清、前川 裕一郎、 松本 志保子、山内 克哉、山本 拓史 (50 音順 計 18 人)
出席した 県職員等 (事務局)	奈良 雅文 (健康福祉部参事)、高須 徹也 (医療局長)、 安間 剛 (医療局技監)、永井 しづか (疾病対策課長)、 櫻井 克俊 (消防保安課長)、梅原 和也 (消防保安課消防行政班長)、 長谷川 文音 (労働雇用政策課主任)、大石 園巳 (福祉長寿政策課主査) 村松 規雄 (こども家庭課長)、 市川 雅義 (障害者政策課課長代理)、村松 斉 (医療政策課医療企画班長)、 秋鹿 真一 (地域医療課地域医療班長)、塩津 慎一 (感染症対策課長)、 宮田 英和 (健康政策課長)、島村 通子 (健康増進課長)、 大森 康弘 (国民健康保険課長)、米倉 克昌 (薬事課長)、 冨田 宏美 (教育委員会健康体育課教育主幹)
議 題	1 協議事項 (1) 第 2 次静岡県循環器病対策推進計画案について (2) 第 9 次静岡県保健医療計画案について (3) 令和 6 年度の循環器病対策推進事業等について
配布資料	<協議事項> 【資料 1-1】 第 2 次静岡県循環器病対策推進計画案について 【資料 1-2】 第 2 次静岡県循環器病対策推進計画案 【資料 1-3】 第 2 次静岡県循環器病対策推進計画の概要 【資料 2-1】 第 9 次静岡県保健医療計画案について 【資料 2-2】 第 9 次静岡県保健医療計画案 【資料 3】 令和 6 年度の循環器病対策推進事業等について <参考資料> 【参考資料 1】 静岡県循環器病対策推進協議会設置要綱 【参考資料 2】 他県の地域医療連携パスの事例 【参考資料 3】 脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業の実施法人の選定状況 【参考資料 4】 脳卒中の病院前スケールの活用状況等に関するアンケート 集計結果

1 議事経過

委員 18 人が出席し、静岡県循環器病対策推進協議会設置要綱第 5 条第 3 項に定める定足数である過半数を満たし、協議会は成立した。

会長が議長となり、議事に入った。

2 審議事項

以下の協議事項及び報告事項について、資料に基づき事務局から説明した。

協議事項

- (1) 第 2 次静岡県循環器病対策推進計画案について
- (2) 第 9 次静岡県保健医療計画案について
- (3) 令和 6 年度の循環器病対策推進事業等について

3 委員からの質疑等

事務局からの説明に対し、委員から次のとおり質疑、意見があった。

協議事項(1) 第 2 次静岡県循環器病対策推進計画案について

小野会長：各部会からの議論に基づいた変更点、パブリックコメント等への対応、循環器病の研究推進の充実について、説明をいただきました。部会委員の先生におかれましては、御意見の提出、ありがとうございました。何か発言がございましたら、挙手していただければと思います。坂本先生、よろしくお願いします。

坂本委員：スライドの 9 番と 10 番のところですが、7 番においては、パブリックコメントとして、壮年熟期の方の有効なボランティアを含めた活動推進を概念として入れるということですが、その下で、減塩や高血圧予防、それに伴う重要性を分かりやすく伝えるという意見があります。循環器病対策協議会としての提案であれば、こういう 60 代の方、70 代の方に、減塩や高血圧予防に関して屋根瓦式でやっていただくという考え、つまり、自分が成功したことを次の方に伝えるような形で、やった人も自分自身が「やってよかった。だから伝える」というということ、循環器病対策の中にも入れ、何かエリアの中でそういうものを支援していくのはどうでしょうか。県民が、自分の健康を維持すると同時にボランティア活動としても推進するというものを静岡県全体で作っていくというふうなことを、せっかくですので、循環器病対策の中にもそういう概念を入れるというのはいかがでしょうかという提案でございます。

小野会長：坂本先生、ありがとうございます。いかがでしょうか。

永井課長：御意見ありがとうございました。計画本文に入れるかどうかは別として、既に高血圧予防に取り組んでいる方の体験談を、ほかの地域の方たちが共有できるような取組ということは、また検討したいと考えております。ありがとうございます。

小野会長：先ほど国民健康保険の協議会に出させていただきまして、そこで議論されたことですが、「東部・中部・西部で、いろいろな疾患、健康の状態に違いがあるのではないかな。何とかしないといけないのではないかな。」というようなニュアンスの御意見が一般の方から出ました。「循環器病では東部・中部・西部で高血圧などについて違いがある」という話をさせていただきましたが、今後の方向性の提案として、国保とか、後期高齢者とか、

そういったところと協力の上やっていくというふうな記載が良いと思いました。今回は間に合わないかもしれないと思いますが、私からの提案です。

永井課長：ありがとうございます。スライド8にもお示ししておりますように、死亡率で西部よりも東部で高くなっていることなど、格差がありますので、そういった格差を少なくするような取組というのはまた継続して行いたいと考えております。

小野会長：ありがとうございます。ほかの委員の方、よろしいでしょうか。それでは、協議事項(1)「第2次静岡県循環器病対策推進計画案」について、事務局が示していただいたとお承認をいただけるということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

小野会長：ありがとうございます。

協議事項(2) 第2次静岡県循環器病対策推進計画の素案について

小野会長：ただいま事務局から説明いただきましたが、保健医療計画案について、次期循環器病対策推進計画案と同様に修正を行っているとのことでしたが、何か御発言ありますでしょうか。よろしいでしょうか。これに関しても、各部会でいろいろ御議論いただいたことかと思えます。各部会の代表の方で、原田先生、脳卒中に関して何かございますでしょうか。

原田委員：よく部会とかの意見が取り込まれていて、特段の意見はありません。先ほど言ったとおり、高血圧とか心房細動とか、急性期の医療機関での連携とか、こういった形で計画を立てていただければありがたいかなと思います。

小野会長：ありがとうございます。前川先生、何かございますでしょうか。

前川委員：本来、部会で発言すべきでしたが、15ページの「心筋梗塞等の心血管疾患」の「対策のポイント」というところに、危険因子として、先ほどパブリックコメントでも御指摘があった項目を追記した方がよろしいかと思えますので、「高血圧症、脂質異常症等」になっていますが、糖尿病と喫煙も入れておいた方が良いと感じました。そこは、循環器病対策と整合性を合わせたほうが良いというふうに思えますので、委員の先生方の御承諾が得られればと思いますが、いかがでしょうか。

小野会長：ありがとうございます。事務局の方、いかがでしょうか。

永井課長：御意見いただきまして、ありがとうございます。御指摘いただいたとお承り修正を行いたいと考えております。

小野会長：ほかの委員の方も、よろしいでしょうか。坂本先生、よろしく申し上げます。

坂本委員：「脳卒中」と「心筋梗塞等の心血管疾患」にかなり同じ表現が使われていますが、その一番初めの1項目のところだけずれてきますが、「脳卒中」のほうには糖尿病や喫煙というものを入れた方が良いかどうか、確認をした方が良いと思いました。

小野会長：ありがとうございます。いかがでしょうか。

永井課長：脳卒中と心血管疾患のリスク因子につきましては、きちんと確認をした上で最終的に策定をしたいと考えております。

小野会長：そういうふうに考えますと、この1ページ目のところの脳卒中の危険因子に心房細動を

入れなくて良いでしょうか。

永井課長：脳卒中につきましては、心房細動を入れるようにいたします。

小野会長：ありがとうございます。ほかに何か御意見ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。「第9次静岡県保健医療計画案」につきましては、修正の上、承認ということにしたいと思います。

(「異議なし」の声あり)

小野会長：ありがとうございます。

協議事項(3) 令和6年度の循環器病対策推進事業等について

小野会長：事務局から説明がございました保健医療計画につきまして、健康計画を踏まえて次期循環器病対策推進計画を基に策定しているとのことでしたが、何か御発言ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、「第9次静岡県保健医療計画の素案」につきまして、事務局案のとおりとすることを御承認いただきたいと思います。いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

小野会長：ありがとうございます。

報告事項(1) 令和5年度の循環器病対策事業の状況について

小野会長：「令和6年度の循環器病対策推進事業等」について説明をいただきましたが、何か御意見、御質問などございますでしょうか。研修会は、今年度は東・中・西で6コマでしたが、来年度は1回でしょうか。

永井課長：スライドの3枚目にお示ししておりますとおり、脳卒中と心血管疾患の2疾病を合わせて1回開催したいと考えております。

小野会長：県下全域で合わせて1回でしょうか。

永井課長：はい、そのとおりです。

小野会長：東・中・西、分けないということですね。それでは、モデル事業に関して、今進捗状況はどのような状況でしょうか。

永井課長：先ほど御説明しましたとおり、静岡県立総合病院と浜松医科大学医学部附属病院の2病院から応募の意向をお示しいただいておりますので、その2つの病院の担当の皆様と打合せをさせていただきまして、この公募の手続を今進めているところでございます。

小野会長：昨年は私たち、内容を見させていただきましたが、今年はもう決まっているので、そういったことはしない方向でしょうか。

永井課長：複数の病院から応募があった場合には、それらを先生方に見ていただいて、最終的にどの病院を推薦するかということを御審議いただきたいと考えておりましたけれども、今回は、脳卒中については静岡県立総合病院、心血管疾患については浜松医科大学医学部附属病院の、それぞれ1病院からのみの応募でございましたので、先生方に書類の確認

などをしていただかずに、こちらの事務方のほうで打合せ等を行っております。

小野会長：はい、分かりました。2月22日が応募期限ということで、これから書類提出ということでしょうか。

永井課長：はい、そのとおりです。

小野会長：ありがとうございます。何かほかに、御質問、御意見などございますでしょうか。

それでは、この「令和6年度の循環器病対策推進事業等」について、事務局案のとおり御承認ということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

小野会長：ありがとうございます。

その他

小野会長：そのほか、全体を通じて、御意見、御発言、何かございましたら、ぜひよろしくお願ひします。まだ時間を随分残しておりますので、一人ずつ何か御意見いただきたいと思ひます。海野先生、何かございましたらよろしくお願ひします。

海野副会長：海野です。ありがとうございます。特に質問等ありません。

小野会長：ありがとうございます。池田様の代理の成澤さん、いかがでしょうか。

成澤委員（池田委員代理）：特にありません。ありがとうございます。

小野会長：ありがとうございます。それでは大石委員、いかがでしょうか。

大石委員：東部と中部の研修会をオンラインで拝見しましたが、その中で、中部のほうの静岡市立病院の縄田先生が、スライドに移行期のことを少し載せてくださって、「今日は触れませんが」と一言言いましたが、何かそこだけでも入れていただいたのを嬉しく思ひました。多くの方が参加されていたので、少し「移行期って何だろう？」と思ってもらえれば良かったかなと思ひました。また、スライド10番の心不全手帳の活用のところ、前に言ったように、ヘルプマークの周知も一緒に広げていただけたらなと思ひました。

小野会長：ありがとうございます。大橋先生、いかがでしょうか。

大橋委員：特にないです。ありがとうございます。

小野会長：どうもありがとうございます。小野寺先生、いかがでしょうか。

小野寺委員：特にありません。推進事業が実りのあるものになることを願っています。

小野会長：ありがとうございます。小柳津委員、いかがでしょうか。

小柳津委員：特に質問、意見等はございません。ありがとうございます。

小野会長：ありがとうございます。久保田委員、いかがでしょうか。

久保田委員：先ほどパブリックコメントに、減塩のところの意識の啓発活動というところがあったと思ひますが、今、食育部会でも、結構若い世代のほうの減塩活動とか、いろんな対策ということも言われていますので、どの世代にどういったふうなポイントを当ててそういう啓発活動をするかということも、また今後考えていかなければいけないかなと思ひました。ありがとうございます。

小野会長：どうもありがとうございました。坂本先生、何かございますか。

坂本委員：特にございません。

小野会長：ありがとうございます。佐々木先生、いかがでしょうか。

佐々木委員：本日は特にございません。ありがとうございます。

小野会長：どうもありがとうございました。鈴木先生、いかがでしょうか。

鈴木委員：第9次保健医療計画につきまして、前回、「重症化予防には薬のアドヒアランスが非常に大事だよ」というお話をさせていただいて、「かかりつけ薬剤師・薬局」という言葉を入れていただいたということは、非常にありがたいなというふうに思っております。

先ほど栄養士会の方からもお話があったように、減塩指導というのは大事ななと思いますので、我々も服薬指導のときには減塩指導もできますから、ぜひその辺も、また今後考えていただきたいなと思います。ありがとうございました。

小野会長：どうもありがとうございます。減塩指導は多職種で取り組まないといけない課題と考えております。田淵委員、何かございますでしょうか。

田淵委員：患者の立場では内容のことはよく分かりませんので、しっかり実行して実りある成果が上がるように願っています。

それから、心臓病友の会というのは、今97人会員がいます。1月下旬に懇親会を行い、小野寺先生にも出席していただきましたが、今97人のうち90歳以上の方が7人います。一番若い人は46歳で人工弁を入れて、まだ元気に動いて自転車に乗っています。その人は今93歳になっています。そういうことで、昔そうやって手術しても、いろんな制度とかに支えられて、本人の体力がある人は元気にまだ動いていますので、本当にありがたいなと思っています。私もペースメーカーが入ってしまして、いろいろな皆さんのおかげで、健康保険や軽自動車税が減免になるなどのいろんな制度がありますが、そういうことは患者の生活にとっても非常に大事なことなので、そういう制度が長く続くように患者はみんな願っています。よろしく願いいたします。

小野会長：どうもありがとうございます。原田先生、いかがでしょうか。

原田委員：ありがとうございます。推進事業、一次脳卒中センターの連携など、また来年度もしっかりやっていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

小野会長：ありがとうございます。よろしく願いします。前川先生、いかがでしょうか。

前川委員：ありがとうございます。先ほど坂本先生に御提案いただいた体験の話は、確かにそのとおりだなと思ひまして、患者さんに、そういう研修会などに御参加いただいて、発言していただく、場合によっては御自身の体験を少し話していただくというのは大変重要な機会だと思いますので、今後講演会を県の方で企画される際には、その点も考慮に入れて企画を練っていただければと思ひました。

小野会長：どうもありがとうございました。松本委員、いかがでしょうか。

松本委員：特にありません。県民向けの循環器病の予防等が全県域に伝わると良いというふうに思っております。ありがとうございました。

小野会長：どうもありがとうございました。山内先生、いかがでしょうか。

山内委員：特に私も意見はございません。よくブラッシュアップされていると思います。ありがとうございます。

小野会長：どうもありがとうございました。これで委員の皆様から御意見などを発言いただきましたが、最後に、もう一言何か言い忘れたとかございましたら御発言をお願いします。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは県の方には、本日いただいた御意見などが十分反映されるように、第2次静岡県循環器病対策推進計画、第9次保健医療計画の策定作業を進めていただきたいと思います。

本日予定しておりました議題につきましては以上となります。委員の皆様には、長時間にわたり多くの御意見や御提案をいただきまして、ありがとうございました。また、今年1年どうもありがとうございました。